

税理士会の要望実現のために活動しています

近畿税政連

平成28年(2016年)
10月10日

第219号

発行所 近畿税理士政治連盟
発行人 久保直己 / 編集人 小川由美子

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



スイスのアルプス高原で空中散歩 (スイス)

撮影：森井 祐江 (葛城支部)

■ 第50回定期大会・記念式典・祝賀パーティー	3
■ 第5回川柳・書道コンテストのご案内	14



朝晩の空気に、肌寒さを感じるようになると、なぜか気忙しいさを感じる。新聞でも、税制改正大綱の文字を頻繁に目にし、年の瀬が刻々と近付いていると覚る。

今年の税制改正では配偶者控除の見直しが検討されている。

女性も仕事を持ち共働き家庭が多くなったが、税制は時代にそぐわなくなったということだ。日本は少子高齢化で働き手が減少していくなかで、女性の力を活用したいという狙いもあるのだ。

戦後、冷蔵庫・洗濯機・炊飯器など家事の負担を軽減すべく、便利な電化製品が出来てお母さんが家事に割く時間が減り、お出掛けなどの家族の団らん時間が増えた。

女性の活躍とストレス

しかし今は、望むと望まざるとにかかわらず、夫婦共働き世帯の増加が顕著となり、女性の多くが担ってきた家事育児に、仕事に加わることで、毎日がてんてこ舞いで目が回る忙しさになった。なかには親の介護が加わることもある。とても便利な時代になったのに心と体が疲れてしまい、こんなに忙しいとストレスを発散する時間もとれないと、悶々とした生活を送ることになる。

そんな時代のストレス解消法にGoogleなどが取り入れている「マインドフルネス」という瞑想法がある。自分の呼吸だけに意識を集中して目を閉じて10分間、何も考えずにひたすら無になる。脳の疲れがとれて、少しは気持ちも穏やかになる。是非とも一度、試してみたい。

第50回定期大会 会長あいさつ

本日、ここに近畿税理士政治連盟第50回定期大会を開催致しましたところ、日税政の池田隼啓顧問を初め、ご来賓の皆様、相談役の皆様、本日はご多用中にもかかわらず、ご光臨を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。そして、日頃の活動を支えて頂いております代議員の皆様、大変お忙しい中ご参集頂きまして感謝申し上げます。



久保直己 会長

先の参議院選挙におきましては、後援会の会員の皆様を中心に支部、支部連の積極的な活動により、推薦議員の多くが当選することとなり、大きな成果を上げることが出来ました。その惜しめない労力に対し、感謝とお礼を申し上げたいと思います。

本年は私たちの組織が納税者政治連盟から税理士政治連盟に改称して50周年にあたります。半世紀を経過した今、税理士業界に対する社会的要請は税務にとどまらず、公益的業務への取り組み等、飛躍的に増大いたしました。

行政との関係においても所管である財務省をはじめ、総務省、中小企業庁を所管とする経済産業省等、私ども税政連として活動範囲も大きく変化してまいりました。

その間、日税政・近税会との連携のもと、毎年数多くの建議要望項目を実現してまいりました。永年にわたり、ご支援を頂いた支部連、支部、後援会の会員の皆様の地道な活動の成果であり、深甚なる敬意を表しますとともに、感謝を申し上げたいと存じます。

そして、本年も税理士法第49条の11に規定された建議権に基づき、私たち税理士の英知を結集した平成29年度の建議書が財務省を初め、関係省庁に配付されました。

本年の建議書の重要項目の一番目に、災害税制に関する基本法の立法化を要望しております。これを実現するためには立法府である国会議員に賛同いただく必要があります、税政連として期待に応えられるよう、活動を進めてまいります。

また、消費税につきましては適用期日の延長に伴い、引き続き税理士会が考える単一税率制度が望ましい等の、あるべき消費税制の姿を強く要望すべきと考えております。

さて、民主党野田政権が解散し、自民党が大勝した4年前の総選挙、3年前の参議院選挙、1年半前の総選挙、そして本年7月の参議院選挙、数多くの選挙において、推薦する国会議員を支援するため、会員の皆様方からお預かりした貴重な会費を使わせていただき、かつ汗して活動してまいりました。その目的は税理士会が毎年行っている建議書要望事項を一つでも多く実現するためであります。これら短期間に想定外の選挙が重なり、財政的にも大きな節目を迎えていると考えております。

そこで、50周年の記念募金(寄附)を募り、財政基盤を強化したいと考えております。重ねて物心両面のご支援をお願いしたいと存じます。

御来賓、相談役の皆様、そして後ほどの記念の懇親会には多くの推薦国会議員の皆様方もお見えいただくことになっております。これだけ多くの方々を支えられていることを非常に心強く思っております。

今後とも近畿税理士政治連盟に対し、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

私たち役員一同、微力ではありますが全力で職責を全うする決意でございます。何卒一層のご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご臨席の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

目次

焦点	1	設立50周年 協力募金のお願い	13
第50回定期大会会長あいさつ	2	第5回川柳・書道コンテストのご案内	14
第50回定期大会・記念式典・祝賀パーティー	3	かんさいすずめ	15
後援会ニュース	9	銀河系	15
門真市長選挙結果	12		

第50回

定期大会・記念式典・祝賀パーティー

～ 9 月 9 日 (金) 帝国ホテル大阪～

定 期 大 会



9月9日、帝国ホテル大阪において近畿税理士政治連盟第50回定期大会が開催された。午後1時、司会の前川武政選対委員長より開会が宣言され、盛大な拍手と共に来賓が入場し、第50回の記念大会に相応しい幕開けとなった。続いて国歌斉唱が行われ、この1年間の物故者への黙祷が捧げられた。

引き続き、来賓として池田隼啓日本税理士政治連盟顧問、鈴木剛日本税理士政治連盟副会長、浅田恒博近畿税理士会会長、前原明弘名古屋税理士政治連盟会長が紹介され、宮田義見相談役、平安式作相談役、田中勇治相談役、大村恵美子



久保田金次郎議長 (左) 大西尚史副議長 (右)

相談役がそれぞれ紹介された。

その後、久保直己会長よりあいさつがなされ、先の参議院議員選挙に対する各会員の協力への謝辞と共に、税理士業務を取り巻く環境変化への対応の必要性及び今後の税政連活動へのより一層の協力を賜りたい旨が述べられた。

続いて、議長に久保田金次郎代議員、副議長に大西尚史代議員が選任された。議長は議事録署名人に余島守代議員、二股茂代議員を指名し、両代議員はこれを了承した。



議案説明 田達満幹事長

田達満幹事長より、第1号議案平成27年度運動経過報告承認の件の説明がされ、笹岡憲一財務委員長より第2号議案である平成27年度収支決算承認の件の説明があり、杉本幸弘会計幹事が監査報告を行った。久保田議長が第1号、第2号議案について会場に諮った所、議案は満場一致で可決承認された。

続いて、旭輝明政策委員長より第3号議案平成28年度運動方針承認の件及び第4号議案平成28年度委員会活動方針承認の件が、笹岡財務委員長より第5号議案平成28年度収支予算承認の件の説明が行われた。議長が第3号議案から第5号議案について議場に諮ったところ、満場一致で議案は可決承認された。

最後に、第6号議案の審議に入り、旭政策委員長より大会決議承認の件が上程され、満場一致で可決承認された。

議長降壇の後、大会決議文が代議員6人により朗読された。



大会決議文朗読

右から天野香鶴子、中山彰、羽田久晃、高砂昭宏、大志万泰範、久富木佳史

(城東支部 村川儀晃)

来賓祝辞

●鈴木剛 日税政副会長

小島忠男日税政会長の代読として、去る7月10日に行われた第24回の参議院議員選挙では大きな成果を挙げて頂いた。税政連の国会における高い評価は、地域に密着した後援会活動に支えられている。

税制改正への対応については、日税政はかねてから一貫して単一税率維持を主張しており、今後も日税連と共に情報収集を強化して税制改正に迅速・的確に対応していく。

税理士法改正の3条3項問題については、未来に向けた確かな一歩だが、税理士制度の改革はこれで終わりではない。次世代に魅力ある税理士制度とすべく積極的に対応していく。

税政連活動の成果は全ての税理士が等しく享受することから、全ての税理士が税政連活動に参加して頂けるよう連盟は単位税政連の皆様と英知を結集して取り組んでいきたい。



鈴木剛 日税政副会長

●浅田恒博 近税会会長

税政連の皆様には近税会の事業、施策に対するご理解を頂き、近税会の課題の解決に向け、側面、裏面、正面から活発な活動をして頂き感謝申し上げます。

税理士会と税政連は車の両輪、税政連の力がなければ我々の主張は通らない。お互いに助け合って税理士制度の発展のために活動していきたい。



浅田恒博 近税会会長

●前原明弘 名古屋税政連会長

我が国の経済は政府の緊急経済対策、日銀による追加金融緩和により徐々に景気は回復しつつあるが、中小企業の先行きの不透明感は強く、依然として厳しい状況にある。

税理士業界は税理士法改正、税制改正だけでなく、公益活動推進や租税教育等の社会貢献への対応、中小企業に対する支援業務等重要な課題が山積している。今後も近税政と名古屋税政連はより一層の連携と協力を図りながら税政連活動を展開していかなければならない。



前原明弘 名古屋税政連会長

支部・支部連・役員表彰

会費収納率の向上に顕著な成果をあげた支部及び支部連の表彰と役員表彰が執り行われた。

最後に井戸本泰次副会長による閉会のことばをもって、盛会のうちに定期大会は閉会した。

(草津支部 橋本淳)

記念式典

旭政策委員長の開会宣言により始まった記念式典。久保会長の式辞において、近畿税理士政治連盟の前身である全国納税者政治連盟が設立されて本年で50年、その沿革について詳しく説明した。税理士法の改正においては、税政連と近畿税理士会は表裏一体の関係で運動を進めてきた大きな成果であった。今後とも申告納税制度と税理士制度の発展のために活動を続けていきたいと述べた。

続いて浅田恒博近税会会長より、税理士法改



政治評論家 田崎史郎氏

正後の円滑な施行と適正な運用と陳情など税理士会の課題について絶大なるご支援とご尽力に対してのお礼と、今後の活動が税理士の利益だけでなく、国家・国民の利益を目指すための活動であることを会員にご理解頂き、目的に向かって関心をもって役割を担って頂きたいとの祝辞があった。その他多数の祝電が披露された。

続いて「日本は良くなるのか～安倍政権の政治と経済の行方～」と題して政治評論家田崎史郎氏より講演があった。37年の政治記者生活の中で自分なりの視点を持つようになった。一つ目は、政治は政治家という人間の営みであり、人格・思惑・感情で動く。二つ目は情と利で半分、理半分の判断基準で自分の行動を決めていると話しをされ、譲位の問題・配偶者控除改正・今後の安倍政権は何をするのかなど興味深いものであった。

最後に河田秀雄副会長の謝辞で閉会となった。(堺支部 東俊夫)

祝賀パーティー

定期大会、記念式典に続いて祝賀パーティーが行われた。

司会は小川由美子広報委員長が担当し、脇阪説男副会長が開宴の辞を述べて開始した。続いて原田憲治総務副大臣が乾杯の音頭を取った。出席をした国会議員は左藤章、北側一雄、原田憲治(総務副大臣)、大西宏幸、佐藤茂樹など各氏22人。国会議員の代理出席として秘書21人。元国会議員及びその秘書4人、地方自治体の首長及びその代理出席者7人がそれぞれ登壇し、あいさつをした。

祝宴会場では、国会議員や首長、府会議員などの方々と、会員の方々が席を交え、和やかに歓談した。

閉宴の辞には辻井賢博副会長があいさつをし、後安宏彦副会長の万歳三唱で終了した。

(天王寺支部 倉矢勇)

第50回定期大会 記念式典



北側一雄 衆議院議員



原田憲治 総務副大臣



佐藤 啓 参議院議員



左藤 章 衆議院議員



北川知克 衆議院議員



うへの賢一郎 衆議院議員



谷川とむ 衆議院議員



宗清皇一 衆議院議員



平野博文 衆議院議員



大西宏幸 衆議院議員



堀井 巖 参議院議員



とかしきなおみ 衆議院議員



伊藤孝江 参議院議員



佐藤茂樹 衆議院議員



石川博崇 参議院議員



渡海紀三朗 衆議院議員

祝賀パーティー 来賓国会議員等



熊野正士 参議院議員



岸本周平 衆議院議員



松本剛明 衆議院議員



西野弘一 前衆議院議員



吉田おさむ 元衆議院議員



長安 豊 元衆議院議員



泉 健太 衆議院議員



中山泰秀 衆議院議員

※写真は登壇順 ※その他、議員出席者：大塚高司 衆議院議員

首長・府会議員・市会議員の皆様

宮本一孝 門真市長
濱田剛史 高槻市長
野田義和 東大阪市長

松本直高 大阪府議会議員
松浪武久 大阪府議会議員
池下卓 大阪府議会議員
新田孝 大阪市議会議員

代理人出席の皆様

世耕弘成 経済産業大臣
川端達夫 衆議院副議長
杉久武 財務大臣政務官
山本香苗 参議院議員
福山哲郎 参議院議員
田野瀬太道 文部科学・内閣府・復興大臣政務官
山口壯 衆議院議員
松浪健太 衆議院議員
竹本直一 衆議院議員
石田真敏 衆議院議員

柳本卓治 憲法審査会会長
鴻池祥肇 参議院議員
安藤裕 衆議院議員
西村康稔 衆議院議員
高市早苗 総務大臣
奥野信亮 衆議院議員
関芳弘 環境副大臣
末松信介 国土交通・内閣府・復興副大臣
松川るい 参議院議員
二階俊博 自民党幹事長
尾立源幸 前参議院議員
樋口尚也 衆議院議員

■ 第50回定期大会における表彰

役員表彰者

加藤 正彦	坂口 明久	高原誠一郎	田 達満	濱田 明久
古澤 宏之	矢野 和英	米満 信昌	九鬼 章泰	佐藤幸太郎 (敬称略)

支部および支部連の表彰

1. 平成27年度会費収納率第1位

- ①支部連(第1条第1号)
和歌山県支部連合会
- ②支部(第2条第3項第1号)
天王寺支部
[第1グループ(予算額500万円以上)]
和歌山支部
[第2グループ(予算額100万円以上500万円未満)]
彦 根支部
[第3グループ(予算額100万円未満)]

2. 平成26年度から平成27年度の会費収納率の純増1位

- ①支部連(第1条第2号)
和歌山県支部連合会
- ②支部(第2条第3項第2号)
該当なし
[第1グループ(予算額500万円以上)]
住 吉支部
[第2グループ(予算額100万円以上500万円未満)]
御 坊支部
[第3グループ(予算額100万円未満)]

3. 平成27年度会費収納率が50%以上かつ、平成26年度収納率から純増

- ①支部連(第1条第3号)
和歌山県支部連合会
(1号・2号基準重複)
大阪府第4支部連合会
- ②支部(第2条第3項第3号)
[第1グループ(予算額500万円以上)]
該当なし
[第2グループ(予算額100万円以上500万円未満)]
和歌山支部(1号基準重複)
大 津支部
住 吉支部(2号基準重複)
旭 支部

- 東住吉支部
富田林支部
[第3グループ(予算額100万円未満)]
彦 根支部(1号基準重複)
福知山支部
峰 山支部
吉 野支部
新 宮支部
龍 野支部
御 坊支部(2号基準重複)
粉 河支部
社 支部
生 野支部
柏 原支部
洲 本支部
湯 浅支部

後援会ニュース

石田真敏後援会

日時 平成28年 7月 9日

場所 ホテルいとう (岩出市)

来賓 石田 真敏 衆議院議員

後安 宏彦 近税政副会長

森村 透 近税政和歌山県支部連会長

定期総会では、加藤正彦後援会会長のあいさつに続き、岸友子会員が議長に選出され、全議案が可決承認され、森下悦男新後援会会長はじめ新役員が就任した。続いて、来賓の後安近税政副会長より平成28年度税制改正に関する建議書の報告があった。



石田議員はあいさつの中で、英国のEU離脱は、大きな混乱をもたらす大変なことだと思う。この問題の背景はEUによる政策決定が進むほど英国の自主性が失われることへの不満と増え続ける移民問題とそれに伴う雇用不安が指摘されている。こうした世の中の流れはいずれ日本にも少なからず影響が及ぼされると考えられるだけに所得の再配分など日本も十分に備える必要があると述べた。

最後に、井谷福市後援会副会長による謝辞と閉会あいさつで定期総会は終了した。

引き続き、山本孝宏後援会副会長の乾杯の発声により懇親会が開催され、石田議員と会員との歓談が続き、加藤前後援会長の中締めにより盛会裏に終了した。

(和歌山支部 小西里枝)

川ばた達夫後援会

税理士による川ばた達夫後援会定期総会が、7月12日、滋賀県大津市の大津プリンスホテルにて開催された。

来賓として、久保直己近税政会長、鈴木勝博滋賀県支部連合会会長が出席した。



林繁里幹事長の司会により開会し、戸次威左武会長のあいさつの後、直ちに議事に入った。

第1号議案から第6号議案まで議長より詳細な説明と、監事の監査報告があり、全ての議案について満場一致により可決承認された。

その後、久保会長の祝辞で「川端議員には国会議員として税理士制度の維持に多大なご尽力をいただき、これからも全力をもって支援していきたい。また、消費税引き上げの延期に伴い、単一税率の導入など、税理士政治連盟としての政治活動の重要性と、税政連の使命をこれからも訴えていきたい」とのあいさつがあった。

引き続き国政報告会に移り、川端議員からは、先の参議院議員選挙についての話題のほか、特定秘密保護法や安全保障法案について、現行憲法と自民党による憲法改正草案と民進党の対案を示しての説明、さらには目前に迫った東京都知事選などの話題についての講演があった。

総会終了後、懇親会となり、一同和やかに歓談し、盛会のうちに散会となった。

(中京支部 高山恵一郎)

関よしひろ後援会

税理士による関よしひろ後援会第8回定期大会が、7月21日に神戸市須磨区の魚子にて開催された。来賓として、関よしひろ衆議院議員、徳富勲近税政副会長、寺内設昭近税政兵庫県第一支部連会長が出席した。



議長に横井保夫会員が選任され、議事に入った。議案はすべて原案通り、可決承認された。続いて来賓によるあいさつがなされ、定期大会は終了した。

○忝田裕顯後援会会長 あいさつ

関議員への皆様による日頃の支援に感謝する。中小企業対策、税制改正など、関議員には引き続きご尽力頂けるよう、応援していく。

○徳富勲近税政副会長 あいさつ

先日の参議院選挙、税政連の活動等で、東奔西走している。関議員には今後も頑張ってください。

○関よしひろ衆議院議員 あいさつ

皆様方の日頃のご支援に感謝する。初当選時から事業の実現に力を注いできた、須磨・垂水の国道二号線の三車線化工事が今年3月に完了し、皆様にも渋滞解消の効果を感じただけたかと思う。参院選の後、憲法改正について取り上げられているが、引き続き、経済対策を第一に取り組んでいきたい。また地元の方々と交流する時間を持ち、その声も大切にしている。今後もご支援をよろしく願います。

その後、懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。
(芦屋支部 吉田智代)

柳本卓治後援会

税理士による柳本卓治後援会の第3回定期総会が、住吉大社吉祥殿において開催された。

日時 平成28年7月22日

来賓 柳本 卓治 参議院議員

河田 秀雄 近税政副会長

前川 武政 近税政副幹事長

小倉 文彦 近税会西成支部支部長



楠本雅一後援会幹事長の司会により開会し、中野雅司後援会会長から「第24回参議院議員選挙もあり、定期総会の開催が1か月ほど遅くなった。引き続き、税理士法改正及び税制改正の要望項目の実現に向けて、柳本議員を支援していく」とあいさつがあった。

来賓紹介に続き、議事に入り、第1号議案から第4号議案が上程され、慎重審議の結果、原案どおり、可決承認された。

続いて、柳本議員から国政報告があり「今回の参議院選挙で自民党単独で過半数をとることができた。現在、参議院憲法審査会会長の職にあり、憲法改正の議論には、民進党にも参加していただいております、これからも一生懸命、頑張っていく」と述べた。

次に、来賓の河田近税政副会長から総会無事終了のあいさつに続き、来たる9月9日に開催する第50回定期大会記念式典には、近税政の全会員に出席の案内をすとの話があった。

その後、前川近税政副幹事長の乾杯で懇親会が始まり、和やかな雰囲気の中で歓談し、盛会のうちに終了した。
(住吉支部 仕田原恒雄)

岸本周平後援会

税理士による岸本周平後援会国政報告会・定期大会が、7月23日、和歌山市内のルミエール華月殿において開催された。

はじめに、岸本衆議院議員より国政報告が行われ、都知事選や先の参議院選総括など政治にまつわる話や、イギリスのEU離脱、アメリカの大統領選挙など、ビジネス、世界経済に渡る問題などマスコミでは報道されない情報まで、さまざまな話題の報告がされた。



次に、定期大会に移り、来賓として後安宏彦近税政副会長と刀祢真大近税政和歌山県支部連幹事長が出席した。西川明伸会員の司会により開会し、大西省悟後援会会長のあいさつがあった。議長には石倉督斗会員が選任され、議事が進行し、上程された議案はすべて可決承認された。

最後に後安近税政副会長のあいさつと湯川直樹会員による閉会のあいさつがあり、定期大会は終了した。

国政報告会・定期大会終了後、懇親会が川口昌紀近税政和歌山支部支部長の開会あいさつにより開催した。岸本議員へ税理士法改正に関する要望書を大西後援会会長より手渡した。刀祢近税政和歌山県支部連幹事長による乾杯のあいさつがあり、懇親会でも岸本議員の会話に会場は湧いた。最後に、大西後援会会長による閉会謝辞をもって懇親会は盛会裏に終了した。

(和歌山支部 小西里枝)

松浪ケンタ後援会

日時 平成28年7月29日

場所 高槻市立文化会館

来賓 松浪ケンタ 衆議院議員

河田 秀雄 近税政副会長

金子 薫 近税政大阪府第3支部連会長

松尾 康弘 近税政茨木支部長



定期大会は、皆元利一副会長が開会を宣し、長井良明相談役が議長となり、平成27年度、第8期運動経過報告・収支報告、平成28年度、第9期運動方針並びに事業計画・収支予算の議案、さらに役員選任などの議案が、太尾田博幹事長より議事提出され、慎重審議の基、全会一致ですべて可決承認された。

続いて、谷丸八郎後援会会長のあいさつがあり、その後、松浪議員が国政報告を行った。

松浪議員は、総会に対するお礼の後、維新はすぐに戻せる。国政では自民が強いのではなく、野党が弱すぎる。また、今後は未来を見据え、日本を作り上げていきたい。さらに憲法改正も含め考えていくことにするなどあいさつがあった。

その後来賓の祝辞として、河田秀雄近税政副会長より、税制改正に対しては我々のクライアントに負担にならないよう税政連として要望していく旨、さらに消費税においても引き続きインボイス等の問題の要望も続けたいとあいさつがあり、滞りなく定期大会は閉会した。

定期大会の後、一同なごやかに歓談し盛会のうちに終了した。(茨木支部 中川巖)

世耕弘成後援会

日時 平成28年 8 月 7 日

場所 安愚楽本店 (和歌山市)

来賓 世耕 弘成 参議院議員秘書

後安 宏彦 近税政副会長

森村 透 近税政和歌山県支部連会長

堀博充会員の司会により開会し、速水慎一郎後援会長より、世耕参議院議員が史上最長となった内閣官房副長官としての職務を終え、経済産業大臣就任の報告のあいさつがあった。



定期大会では、司会者より湯川直樹会員が議長に指名された。刀祢真大幹事長が上程した議案は、全て可決承認され、議長の湯川会員は降壇した。来賓の後安近税政副会長、森村和歌山県支部連会長および世耕参議院議員秘書よりあいさつがあった。後安近税政副会長から最近の税制についての報告と、森村支部連会長からは、会費収納率連続1位であるが未納会員へ税政連の目的を説明するよう依頼があった。世耕参議院議員秘書からは、このたびの世耕議員の入閣で定期大会に出席できなかったが、中小企業対策に積極的に取り組む世耕議員の近況報告があった。最後は、溝上会員のあいさつで閉会した。

定期大会終了後、同じく安愚楽本店において懇親会を開催した。内原健会員による乾杯の発声ではじまり、支部を越えて交流を深めた。最後は、司会者堀博充会員の一丁締めで、懇親会は和やかなうちに終了した。

(和歌山支部 小西里枝)

門真市長選挙 推薦候補者が当選

門真市長選挙が7月17日告示、同24日投開票により施行された。

本部では、第1回推薦審査会を7月13日に開催し、大阪府第2支部連より門真市長選挙推薦候補者として報告のあった新人の宮本一孝氏みやもと ひとたか(大阪維新の会推薦)について「首長選挙における推薦基準」に基づき慎重に審議を行い、門真市長選挙における同氏の推薦を決定した。

選挙にあたっては、選挙支援が法令違反とならないように十分留意して行われ、投開票の結果、当連盟推薦候補者の宮本一孝氏が当選を果たした。

今後、宮本一孝氏には、ますますの活躍を期待するとともに、力強いご支援を頂戴したい。

首長選挙における推薦基準

平成11年8月4日

総務会決定

1. 被推薦者は、自由主義経済体制下において、税理士制度の発展に寄与し、且つ、相当の効果を期待できると思われる次の各号の一に該当するもので、推薦審査会が特に必要と認めた立候補予定者に限ることとする。

(1) 税理士業界に対する貢献が極めて顕著であると認められる首長、または今後、多大な貢献が得られることが確実と認められる者

(2) 税理士会の会員で、真に税理士たる使命と信念に立脚した立候補予定者であり、且つ、当選の可能性が認められる者

2. 推薦は、選挙区ごとに1名とする。

3. 推薦は、選挙ごとに本連盟推薦審査会において決定する。

(注) 当推薦基準の適用は、府県知事選挙及び市長選挙に限ることとする。

設立50周年 協力募金のお願い

謹啓 時下、会員先生方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より近畿税理士政治連盟の活動に格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、近畿税理士政治連盟は設立50周年を迎えることとなりました。

これもひとえに会員先生方、また多くの諸先輩先生方のご尽力によるものと心より深く感謝申し上げます。

さて、近畿税理士政治連盟では、更なる税理士法改正をはじめ毎年の税制改正等、税理士会の要望実現のため、近畿税理士会とともに、益々強力な活動を行って参ります。

そこで、50周年のこの機に財政基盤を強化するため、会員先生方の心温まるご寄附を募らせていただきたく存じます。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

※政治資金規正法の規制により、税理士法人などの「法人」および外国籍の会員の方は対象外とさせていただきます。法人にお勤めの方がお振込みされる場合は、個人名をご記入下さいますようお願い申し上げます。

※振込方法など詳細につきましては、同封の別紙「設立50周年 協力募金のお願い」をご覧ください。

トップを飾る写真を 募集しています



近畿税政連では、次の写真を募集しています。

①近畿税理士政治連盟HP (<http://www.kinzeisei.jp/>) のトップページの写真

テーマ：「近畿地方のお城」

②近畿税政連の広報紙の表紙写真

テーマ：「自由」

トップを飾るにふさわしい写真をお待ちしております。

※ 作品の著作権は近畿税理士政治連盟に帰属し、利用させていただきます。

※ 作品は未発表作品に限ります。

○応募先○

・メール（データ）で提出される場合は、「作品と名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、info@kinzeisei.jpまで送信してください。

・現像で提出の場合は、作品裏に「名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、下記まで郵送してください。

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館5階

近畿税理士政治連盟 広報委員会 行

広報委員会からのお知らせ

第5回

『川柳』『書道』コンテストのご案内

平素は近畿税理士政治連盟へのご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。さて本年度も、近畿税政連の広報活動の一環として、会員の皆様に当連盟に慣れ親しんで頂くために、『第5回「川柳」「書道」コンテスト』を開催させて頂くことになりました。

下記の要領で募集いたしますので、どうぞお気軽にご応募ください。

応募要領

- ①川柳コンテスト
 - ②書道コンテスト
 - ③書道コンテスト
 - ④書道コンテスト
- テーマ部門 題字 「近畿税政連」 「焦点」
- 自由部門 題字自由
- 硬筆部門
- テーマ（税理士法第1条冒頭より20文字）

応募作品 近畿税理士政治連盟を盛りあげるような作品をお待ちしております。

応募期間 平成28年9月9日（金）～平成29年6月16日（金）必着

応募資格 近畿税理士会員に限ります。

応募点数 各部門3点まで（ただし、入賞は各部門1人1点）

- 応募規定**
- 応募作品は制作から1年以内のものに限定します。
 - 過去に応募されたことのある作品は対象外とします。
 - 書道コンテストの作品サイズ

書道コンテスト テーマ部門 半切・八ツ切（左から横書き）

書道コンテスト 自由部門 半紙・半切・八ツ切

書道コンテスト 硬筆部門 指定応募用紙（1行10文字×2行以内）

応募方法 作品に次のものを記入した応募票（形式自由）を貼付して応募してください。

- ①応募部門、②支部名、③登録番号、④氏名、⑤制作年月日
- ⑥作品に対するコメントや説明（100字以内）

参加費用 無料

- 審査方法**
- 1次審査：広報委員会による審査
 - 2次審査：外部の審査員による審査（予定）

- 表彰式** 平成29年9月中旬
- （各部門）最優秀会長賞・優秀賞・入選
- ※入賞作品は機関紙に掲載いたします。

応募用紙・応募票は、近畿税政連ホームページの**会員専用ページ**からもダウンロードが可能です。

近税政HP：
<http://www.kinzeisei.jp/>

応募先

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館5階

近畿税理士政治連盟 広報委員会 行

※川柳コンテストにつきましては、FAXでもご応募いただけます。
(FAX:06-6944-9050)

■作品の著作権は近畿税理士政治連盟に帰属し、機関紙への掲載等広報活動に利用させていただきます。

「夏は甲子園」

第98回全国高等学校野球選手権大会は、優勝候補が次々と姿を消していく中、作新学院高校が北海高校との決勝戦を制し、54年ぶりに優勝し全国3874校の頂点に立ちました。今年の大会は、有力校が地区予選で姿を消していき、波乱に満ちた大会でしたが中でも一番の話題は、PL学園の最後の姿ではなかったかと思えます。甲子園で数々の記録を残し、また、記憶にも残った野球部が無くなるのは寂しい限りです。

今から遡ること40年余り前、私の現役の頃は大阪は私学7強の時代でした。

北陽高校には岡田彰布、PL学園のエースは尾花高夫という、後のプロ野球で活躍する選手がいましたが、それらを倒して甲子園にコマを進めたのは興国高校でした。社会人野球の新日鉄堺で野茂英雄とチームメイトとなる清水信英と呉正春のバッテリーで大阪大会を勝ちあがり、7年ぶり2回目の出場権を手に入れました。

その興国高校も2回戦で宮崎の日南高校に敗れました。決勝戦は後に中央大学から野手となり、ヤクルトスワローズで監督までしたエース小川淳司率いる習志野高校が新居浜商業高校に9回サヨナラで勝ち、深紅の優勝旗を手に入れました。あの頃の事は、鮮明に覚えています。

毎年この時期になると、甲子園の結果が気になって仕方がありません。

今年の夏はリオオリンピックでの日本人のメダルラッシュに沸きましたが、私にとっては、やっぱり夏は甲子園です。

そして、この夏の大会が終わると「ようやく秋が来たな」と感じます。(東大阪支部 中口哲久)

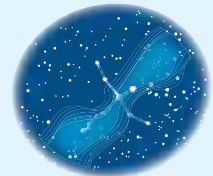


近税政本部のうごき

- 第1回正副幹事長会(7月29日)
 - 第50回定期大会・記念式典・祝賀パーティーの開催に関する件
 - 第50回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
 - その他
- 第1回幹事会(7月29日)
 - 第50回定期大会・記念式典・祝賀パーティーの開催に関する件
 - 第50回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
 - その他
- 第1回総務会(8月5日)
 - 第50回定期大会・記念式典・祝賀パーティーの開催に関する件
 - 第50回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
 - その他

「表紙」題字:「第3回川柳・書道コンテスト」
書道テーマ部門 最優秀会長賞作品
(作=今田幸史 伊丹支部)

銀河系



『コンテストを通じて見えるもの』

今年も「第4回川柳・書道コンテスト」の表彰式が開催された。受賞作品は定期大会(帝国ホテル大阪)でも展示され、毎年多くの反響がある。コンテストをライフワークにされている会員もおられ、その傑作の素晴らしさを拝見している。コンテストの開催は当たり前だが、多くの方々のご協力により成り立っている。最優秀賞を受賞された桑野秀朗会員もその一人である。第1回目から応援して頂き、ご自身の作品を毎回応募してくださっていた。また表装職人を紹介して頂き、受賞作品を眺めて書道の作品展示を華やかにして頂いていた。他にも表敬したい方の名前を列挙したいが、紙面の都合上割愛する。開催側にいると、「色んな方の人柄が見えて」面白い。行動で示される方の素晴らしい人間性を学びながら、私も一人の人間として精進していきたい。

(門真支部 大志万泰範)



大阪・奈良税理士協同組合

<http://www.hanna-zeikyo.jp>

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4 近畿税理士会館11階 TEL 06-6941-6888/FAX 06-6947-2800